

株式会社VLCセキュリティ

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

2026年8月14日



サイバーセキュリティが未来を加速する

“Accelerate the Future with Cyber.”

INDEX

【2027年3月期 第1四半期 連結業績等】

■ 連結決算のポイント	3
■ 連結P/L概要	4
■ ソリューション別業績	5
■ ビジネスハイライト	6
■ 連結B/S概要	9
■ 2027年3月期通期連結業績見通し	10
■ 今期の主方針	13

2027年3月期 第1四半期 連結業績等

2027年3月期 第1四半期 連結決算のポイント

- 売上高： 289百万円（前期比 ▲ 5百万円、▲ 1.8%）
- 営業利益： ▲ 161百万円（前期比 ▲ 30百万円）
- 包括利益： 487百万円（前期比+296百万円、+154.9%）

- ・ 組織体制とソリューション強化による受注数、受注率及びリピート率の着実な向上の推進
- ・ サイバーセキュリティトレーニングアリーナの集約などにより売上は前期比減
- ・ 包括的業務提携パートナーのDS社とのAI・サイバーセキュリティ分野での事業連携に向けた体制構築（協業先の開拓、要員確保、ソリューション開発など）を推進しているものの、DS社との事業連携の本格稼働の遅延による売上の伸び悩み
- ・ 有価証券評価差額金+323百万円により、包括利益は前期比+296百万円の487百万円に

2027/3月期1Q（連結）

（単位：百万円）

	金額	2026/3月期 1Q比		2027/3月期 通期業績予想
		増減額	比率	金額
売上高	289	▲5	▲1.8%	3,000
売上総利益	113	-	-	
販管費	274	-	-	
営業利益	▲161	▲30	-	300
経常利益	▲165	▲34	-	300
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲165	▲28	-	200

■ 売上高：

- ・ 新規受注、リピート案件やストック型売上の着実な拡大の推進

■ 売上原価・販管費：

- ・ 組織体制とソリューション強化やDS社との事業連携に向けた体制構築に投入

■ 各段階利益：

- ・ 各段階利益は前期比で減少

- ・ DS社との事業連携の本格稼働の遅延による売上の伸び悩み、サイバーセキュリティアーリーナの集約などにより、前期比で売上高及び各段階利益は減少
※包括利益は有価証券評価差額金により前期比大幅増

- 新規顧客獲得や大口案件パイプライン増加、関連法の改正需要も一段落したものの、安定的推移
- サイバーセキュリティトレーニングアリーナの集約などにより売上減少
- 包括的業務提携パートナーのDS社との事業連携に向けた体制構築を推進したものの、本格稼働の遅延による売上の伸び悩み

売上高 (2027/3期1Q)

289百万円

前期比 ▲5百万円 同 ▲1.83%

(単位：百万円)	2027/3月期 1Q	2026/3月期1Q		
		金額	増減額	比率
セキュリティトレーニング ソリューション	64	84	▲20	▲23.8%
セキュリティ診断・調査 ソリューション	99	89	+10	+11.4%
セキュリティコンサルティング ソリューション	125	121	+4	+3.8%

セキュリティトレーニング ソリューション

- 前期に引き続き、トレーニングアリーナの集約などにより、売上減
- 収益性向上及び非連続的な成長を図るため、トレーニングのリモート提供、eラーニング、日本独自の新規プログラム開発などの推進
- セキュリティ人材アセスメントサービスの大型受注獲得。アセスメントを入口としたトレーニング受講への布石作りに寄与

セキュリティ診断・調査 ソリューション

- 国内におけるランサムウェア攻撃やサプライチェーン攻撃への対策需要を背景に、企業のセキュリティ投資が堅調に推移
- インシデントレスポンスを起点としたサービスやディスカバリなどのストック型収入の着実な積上げ
- 新規協業先の開拓により、販売チャネルが拡大し、大企業からのパイプラインも増加傾向

セキュリティコンサルティング ソリューション

- 情報セキュリティ認証取得支援サービスが引き続き堅調に推移
- 今後の市場拡大が期待されるセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）への対応強化を推進
- スtock型収入の積上げのため、官公庁で策定推進の新規制度の支援サービスの開発に着手

■ 今後の収益化に繋がる提携や協業

- 日本国内におけるOTセキュリティのリーディングカンパニーであるテリロジーとOTセキュリティ領域における協業を開始（3年間で500名の受講、2億円の売上を目指す）
- ヤグラが提供する『Yagura Awareness』および『PhishAI』を活用した 人的リスク対策サービス「AIヒューマンリスク対策プラットフォーム Powered by Yagura」の提供を開始（販売開始から2年間で5億円の売上を目指す）
- ランサムウェア対策ソリューションのポートフォリオ強化としてランサムウェア対策プラットフォーム『Halcyon』の取り扱いを開始（販売開始から3年間で100社への導入、1億円の売上を目指す）

■ 「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ評価制度」に対応したアセスメントサービス『V-Sec GC SCS 評価制度』の提供開始

■ AIマネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC 42001:2023（JIS Q 42001:2025）」の認証取得を支援するコンサルティングサービスの提供

■ ランサムウェア攻撃を想定した『ペネトレーションテスト 標準シナリオ』のリリース

■ 企業のサイバーセキュリティ状況を可視化するサービス『SecurityScorecard（セキュリティスコアカード）』の提供開始

■ その他：コンソーシアム複数団体への入会及び活動開始。事業・組織拡大に向けた提携・買収先の模索を推進、有力な協業パートナーとの継続協議。事業収益のストック化の推進

- 包括的業務提携パートナーのDS社とのAIデータセンター関連事業に向けたサイバーセキュリティ・ソリューションの提供に向けた体制構築（協業先の開拓、要員確保、ソリューション開発など）を推進
- 警察庁サイバー捜査課長や国際刑事警察機構（ICPO／インターポール）金融犯罪ユニット長など、国内外においてサイバー犯罪対策・インテリジェンス分野で豊富な実績を有する棚瀬 誠氏が取締役役に就任
- 大手セキュリティ会社におけるインフラ運用及びセキュリティ監視センターでの実務経験に加え、内閣サイバーセキュリティ（NISC）における行政機関のセキュリティインシデント対応や普及啓発活動の経験など、官民双方における豊富な知見を有する川口 洋氏を技術顧問に招聘

2027/3月期1Q（連結）

（単位：百万円）

	2026/ 3月末	2027/6月末		
	金額	金額	増減額	前期末比
流動資産	602	458	▲144	76.0%
固定資産	594	1,448	+854	243.8%
繰延資産	—	—	—	—
総資産	1,196	1,906	+710	159.3%
流動負債	306	336	+30	109.9%
固定負債	307	501	+194	163.3%
純資産	583	1,068	+485	183.2%
自己資本比率	48.5%	56.0%	+7.5	—

＜前期末比＞

■ 流動資産：

- 現金及び預金73百万円増、受取手形、売掛金及び契約資産198百万円減などで144百万円の減少

■ 固定資産：

- 投資有価証券853百万円増などで854百万円の増加

■ 流動負債：

- 契約負債55百万円増などで30百万円の増加

■ 固定負債：

- 繰延税金負債201百万円増などで194百万円の増加

■ 純資産：

- その他有価証券評価差額金652百万円増、親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円などで485百万円の増加

■ 自己資本比率：

- 以上の結果、自己資本比率は7.5ポイント増加

2027年3月期通期連結業績見通し（1／3）

- AI×サイバーセキュリティを新たなアイデンティティに、DS社との事業連携も本格化
- 売上高見通しは前期比+119.6%の3,000百万円、営業利益+688百万円の300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益+585百万円の200百万円

2027/3月期（連結）

	2027/3月期 業績見通し			2026/3月期 実績
	金額	前期比較		金額
		増減額	増減率	
(単位：百万円)				
売上高	3,000	+1,634	+119.6%	1,365
営業利益	300	+688	-	▲388
親会社株主に 帰属する 当期純利益	200	+585	-	▲385

- AI×サイバーセキュリティを新たなアイデンティティに、DS社との事業連携も本格化
- DS社の日本国内・豪・タイの第1号データセンター案件に対するサイバーセキュリティ・ソリューションの提供の開始。各データセンターの稼働開始時より計上開始想定

2027/3月期（連結）

（単位：百万円）

予想値

補足説明

売上高

3,000

- DS社の日本国内・豪・タイの第1号データセンター案件に対するサイバーセキュリティ・ソリューションの提供の開始

営業利益

300

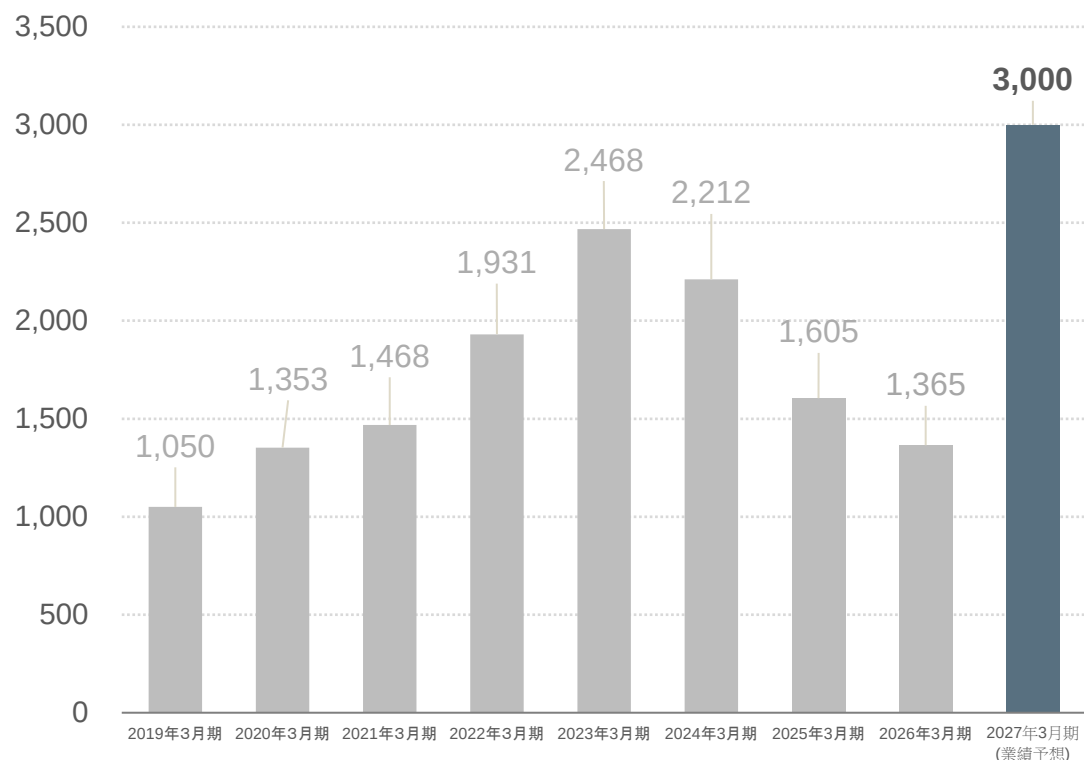
- ・売上高：
各データセンターの年度内稼働開始時より売上高分の2.0%相当
既存事業も30%以上の成長を想定

親会社株主に帰属する
当期純利益

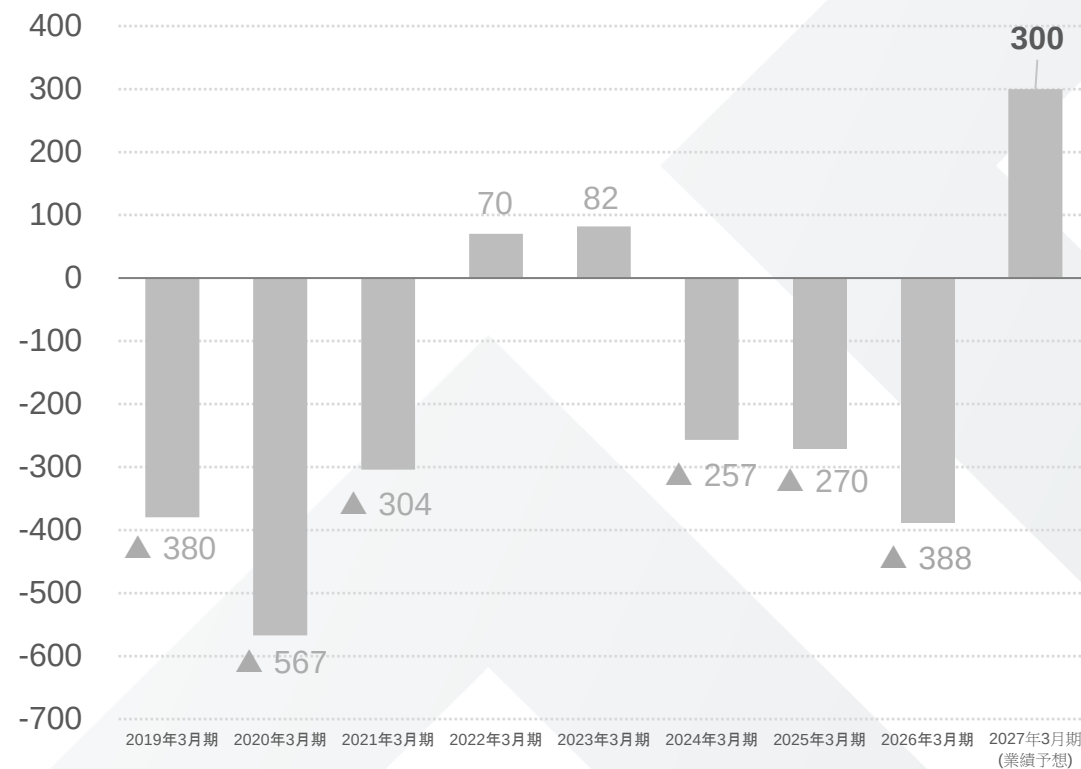
200

■ 売上高見通しは前期比+119.6%の3,000百万円、営業利益+688百万円の300百万円

売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、マクロ経済動向及び市場環境や当社グループの関連する業界動向、その他の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。また、本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

I R 及び本資料に関するお問い合わせ

株式会社VLCセキュリティ
IR担当

https://form.vlcsecurity.com/form/VLCSecurity_IRcontact



株式会社VLCセキュリティ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4丁目1-40 江戸見坂森ビル

<https://vlcsecurity.com/>